

2012年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2012年2月14日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2012年2月14日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- I .2012年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II .2012年3月期第3四半期の取組みと重点課題の進捗状況
- III .当社グループの強みと今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2012年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





2012年3月期第3四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は約18.2万口座と順調に拡大。預り証拠金も口座数の拡大に伴い前四半期比1.0%増の379億円に。

総口座数	181,877口座	2012/3期2Q末比	3.6%増
預り証拠金	37,888百万円	2012/3期2Q末比	1.0%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率の大幅な低下の影響等により前四半期比16.3%の減少。

10-12月取引高	約1,886億通貨単位	2011/7-9月比	16.3%減
-----------	-------------	------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 第3四半期(2011/10-12)の営業収益は1,922百万円(前四半期比0.0%)、経常利益は237百万円(前四半期比252.7%増)となった。

- ④ 四半期純利益は経常利益の増加により、前四半期比54百万円増(前四半期比67.5%増)の134百万円となった。

- ✓ 欧州債務問題の先行き不透明感が高まる中、2011年12月の外国為替相場の変動率が2007年5月以来の低水準となるなど、四半期を通じて変動率は低下。これに伴い取引高は前四半期比16.3%の減少。
- ✓ 一方、取引高当たり収益率の改善により営業収益は前四半期並みを維持。このため変動費をはじめとする販管費の減少により、経常利益が前四半期比252.7%増加し、四半期純利益も前四半期比67.5%増となった。



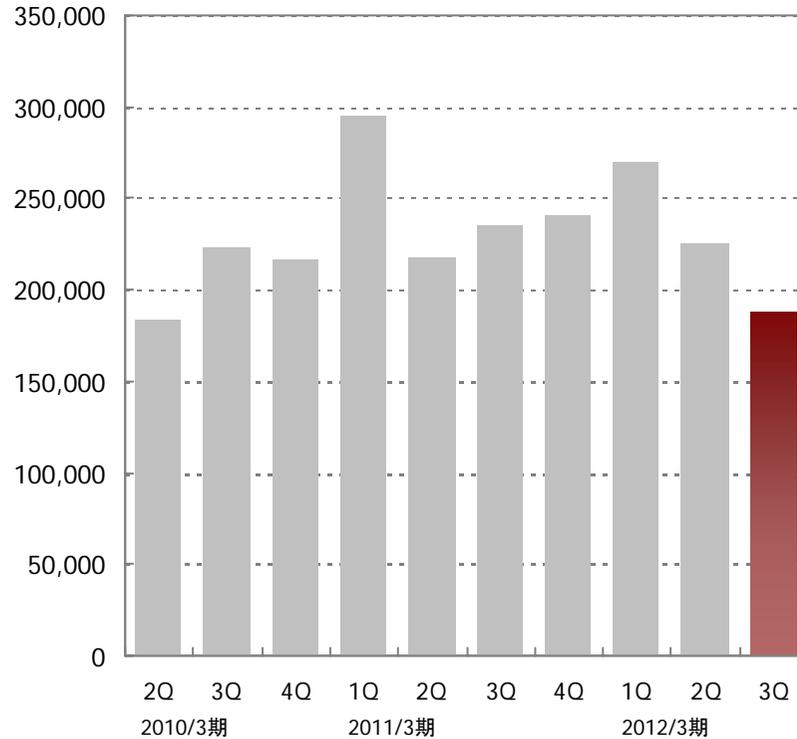
事業数値の動向

Money Partners Group

■ 外国為替取引高および営業収益の推移

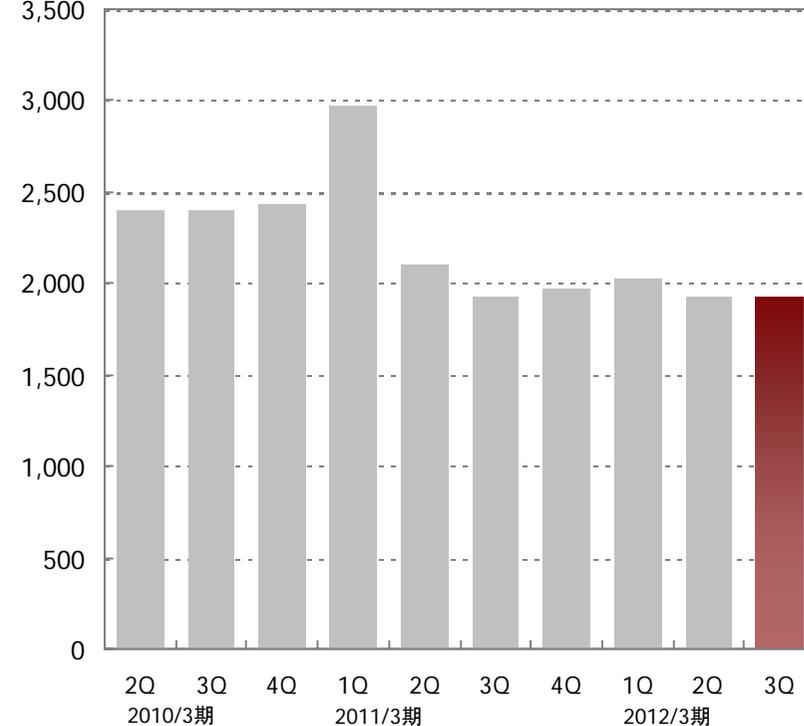
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益



(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	10/3期 2Q	10/3期 3Q	10/3期 4Q	11/3期 1Q	11/3期 2Q	11/3期 3Q	11/3期 4Q	12/3期 1Q	12/3期 2Q	12/3期 3Q
外国為替取引高	184,039	223,243	213,366	295,234	217,810	235,158	240,340	270,379	225,346	188,609
営業収益	2,394	2,404	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	1,922	1,922

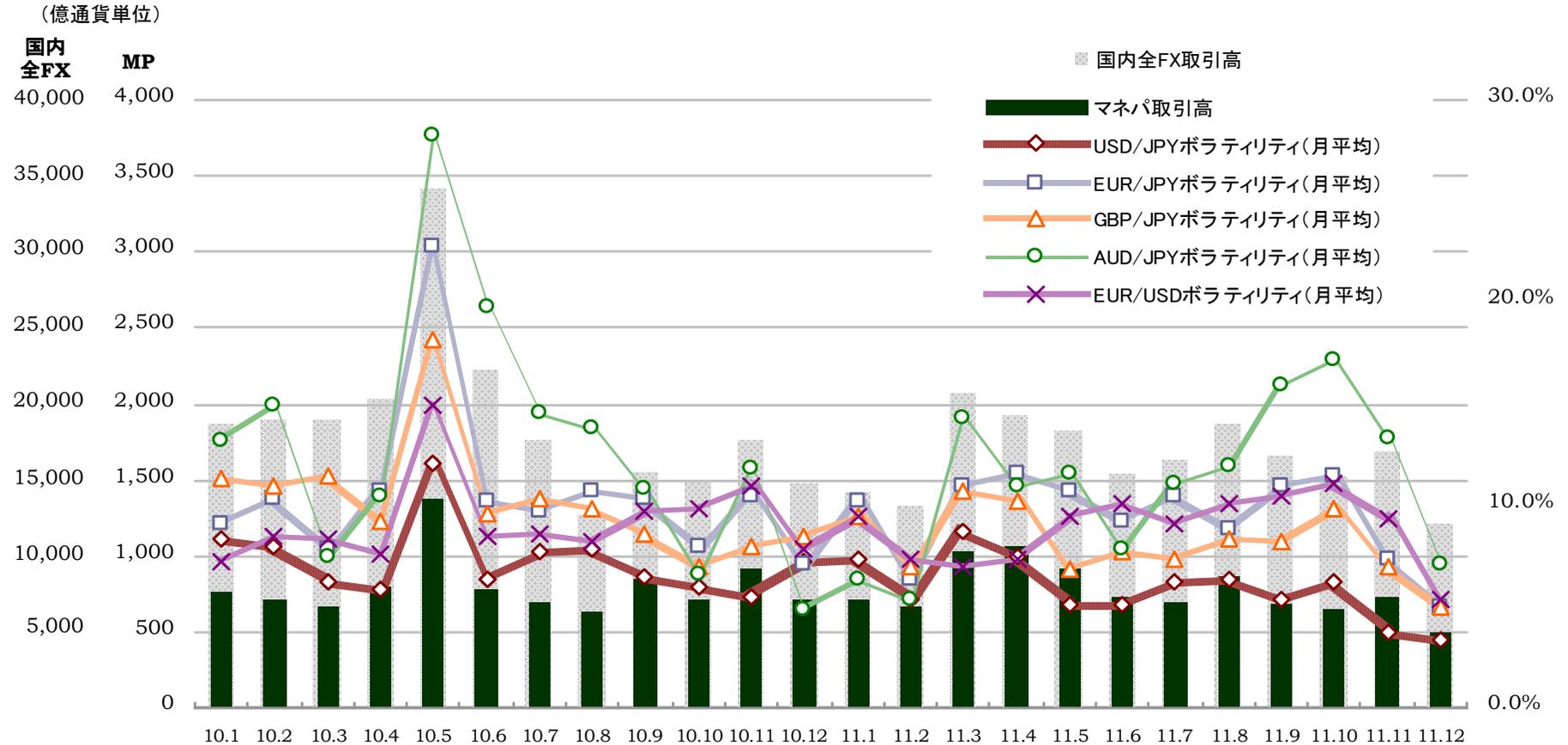
※それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



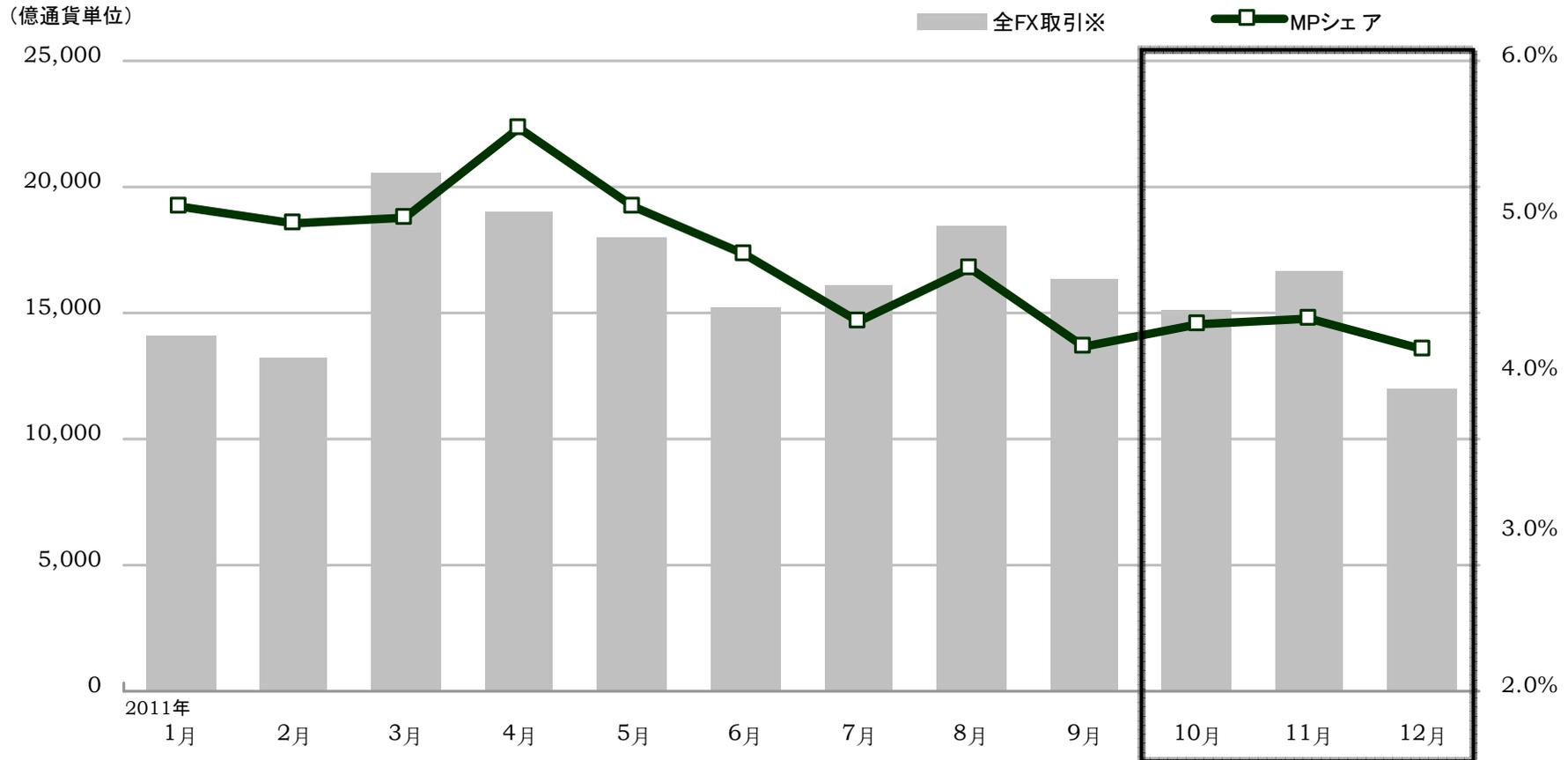
USD/JPYについては日銀・政府による介入警戒感等、EUR/JPY・EUR/USDについては欧州債務問題に伴う悪材料織り込みの一巡等により変動率が極端に低下。取引高もこれにつれて減少した。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

国内全FX取引高と当社取引高シェアの推移



※ 店頭取引(金融先物取引業協会発表) + 取引所取引(各取引所公表)

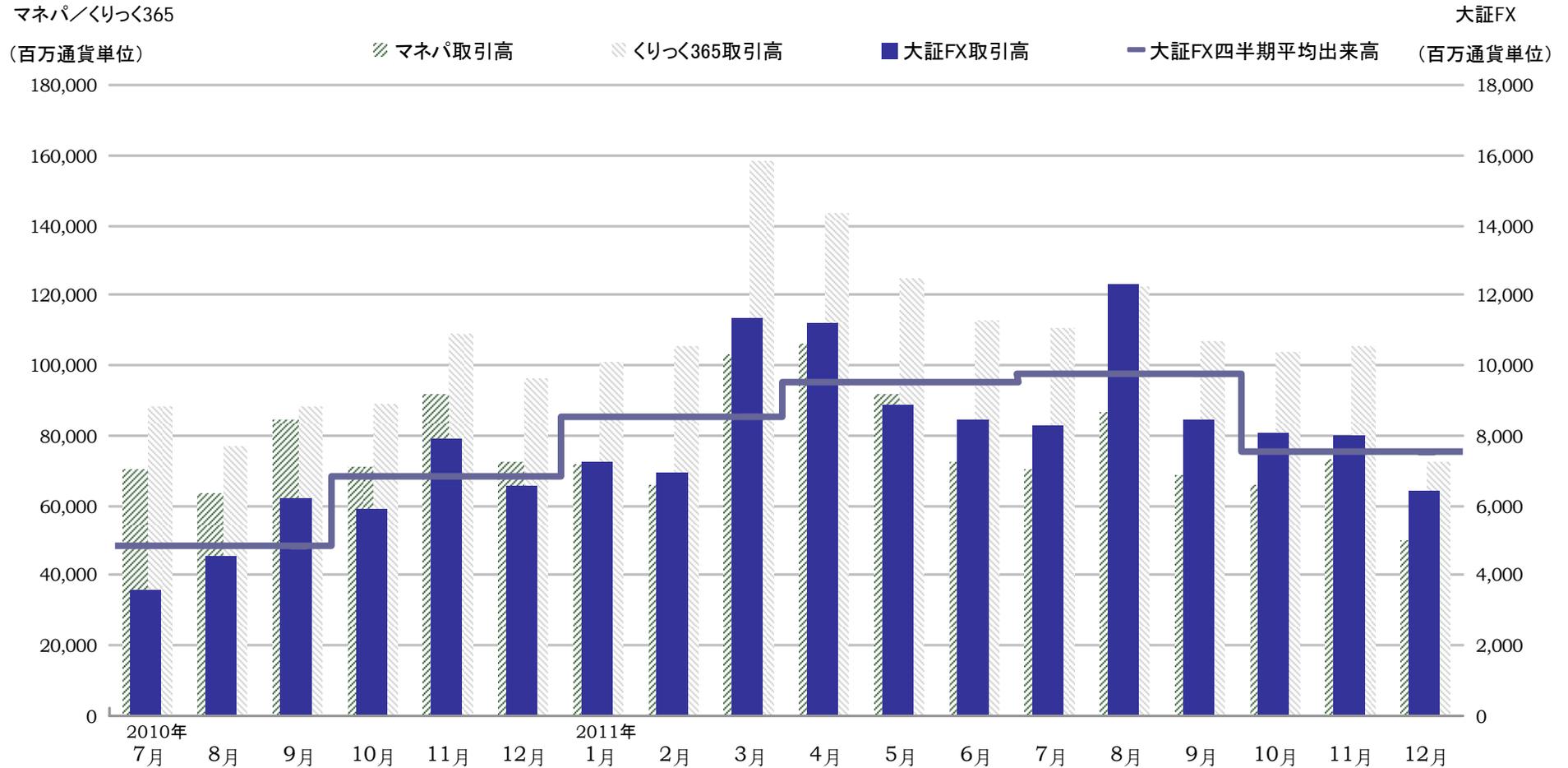
国内FX市場が変動率低下の影響を受け取引高が減少する中、当社取引高も同様に減少した結果、シェアは横這いで推移。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

■ 大証FX取引高と当社及びくりっく365取引高の推移



大証FXの取引高は徐々にシェアを伸ばしており、これにつれマーケットメイク業務からの収益も相対的に増加。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2010/3期	2011/3期				2012/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	2,430	2,976	2,105	1,930	1,969	2,027	1,922	1,922	0.0%
受入手数料	0	0	0	0	0	3	4	2	△27.1%
トレーディング損益	2,417	2,955	2,077	1,920	1,958	2,015	1,903	1,910	0.4%
金融収益	5	6	5	4	4	3	4	3	△18.0%
その他の売上高	7	13	21	5	5	4	9	5	△48.2%
金融費用	2	2	2	2	14	36	38	37	△1.4%
売上原価	5	8	14	3	1	1	5	3	△45.4%
純営業収益	2,423	2,964	2,088	1,925	1,952	1,989	1,878	1,882	0.2%
販売費・一般管理費	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	1,801	1,641	△8.9%
営業利益	339	698	115	45	156	102	77	241	212.0%
経常利益	336	693	107	38	149	98	67	237	252.7%
税金等調整前四半期純利益	336	671	107	△42	150	94	92	237	156.3%
四半期純利益	195	394	59	△26	87	56	80	134	67.5%
営業収益経常利益率	13.8%	23.3%	5.1%	2.0%	7.6%	4.9%	3.5%	12.3%	

1. 外国為替相場の変動率低下等、外部環境が悪化する中、取引高当たりの収益性の改善等により前四半期並みの営業収益を維持。一方、変動費をはじめとする販管費の減少により、経常利益は237百万円と2011/3期2Q以来の最高水準を確保。
2. 経常利益の水準の回復に伴い、営業収益経常利益率は、12.3%まで回復。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳および主要費目の推移

単位: 百万円

	2010/3期	2011/3期				2012/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	1,220	1,369	1,079	1,010	953	973	915	781	△14.7%
人件費	239	244	240	239	222	244	244	263	7.8%
不動産関係費	266	260	260	254	243	266	248	195	△21.1%
事務費	221	230	238	216	227	233	234	237	1.3%
減価償却費	119	116	123	129	129	124	131	135	3.0%
租税公課	1	14	13	10	0	10	11	11	△1.4%
貸倒引当金繰入れ	0	0	0	0	4	—	0	△0	△200.0%
その他	13	28	16	18	14	34	15	18	15.4%
販売費・一般管理費合計	2,084	2,265	1,972	1,880	1,796	1,887	1,801	1,641	△8.9%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	344	216	237	204	132	99	147	130	△11.4%
システム関連費用(※2)	387	405	422	388	391	414	399	340	△14.9%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

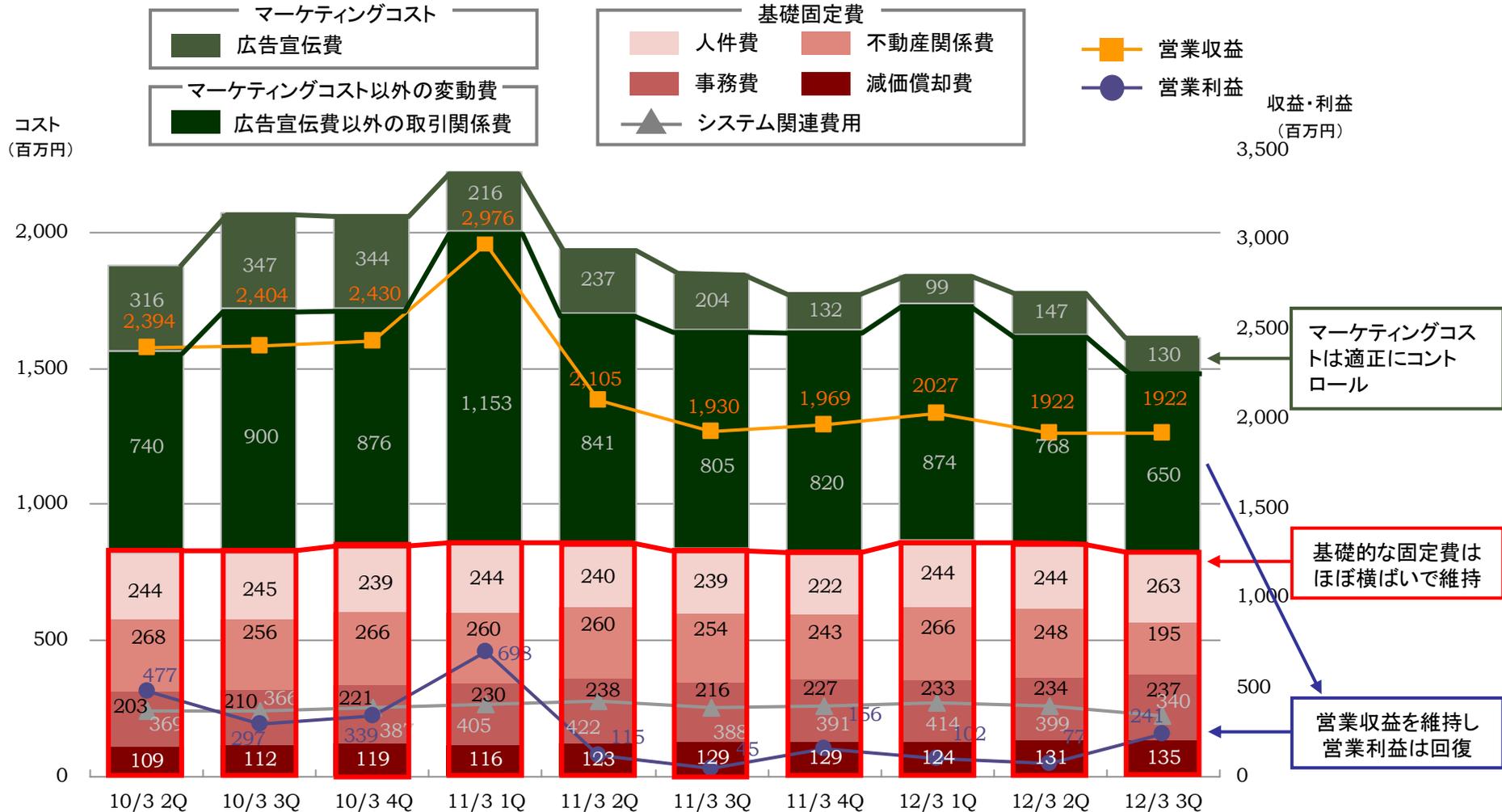
1. 取引高の減少や広告宣伝費の減少に伴い、変動費が大部分を占める取引関係費は前四半期比14.7%減の781百万円となった。
2. 2Qに完了したデータセンター集約の効果等によりシステム関連費用が減少し、不動産関係費は前四半期比21.1%減の195百万円となった。



Money Partners Group

四半期固定費及び変動費推移

■ 主要な固定費・変動費の推移



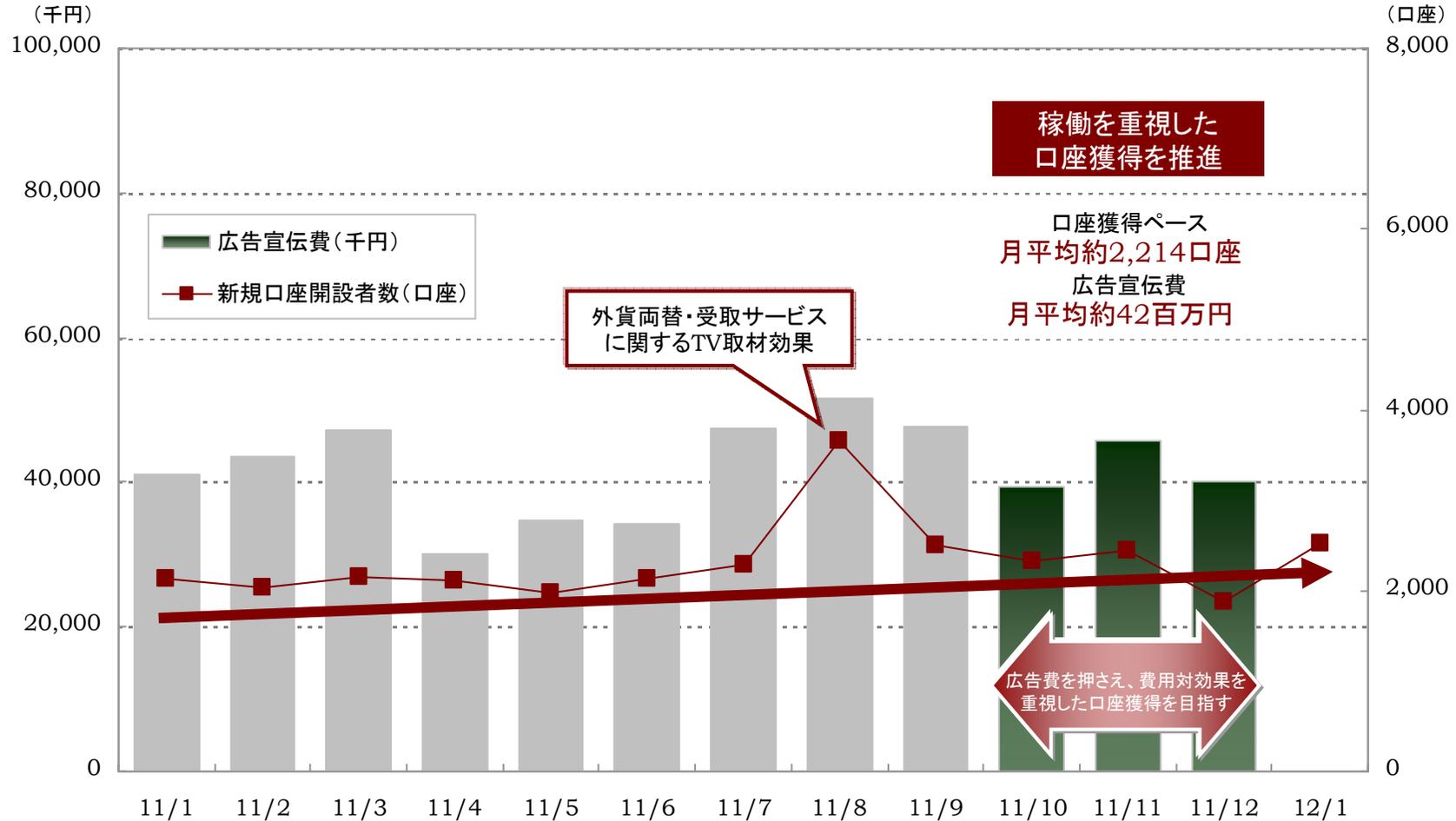
取引高減少に伴う変動費の減少及びマーケティングコストの減少に加え
基礎固定費が減少した結果、コスト全体では前四半期比8.9%減となった。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



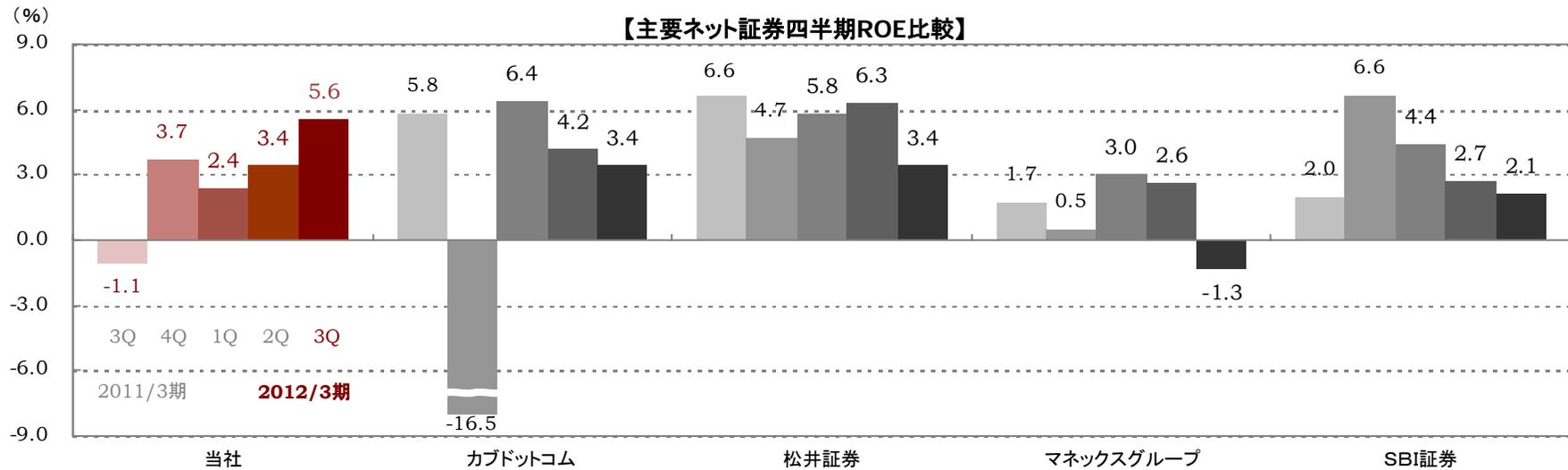
前四半期と比べ広告宣伝費を抑制したものの新規口座開設者数のトレンドラインは増加基調を維持。



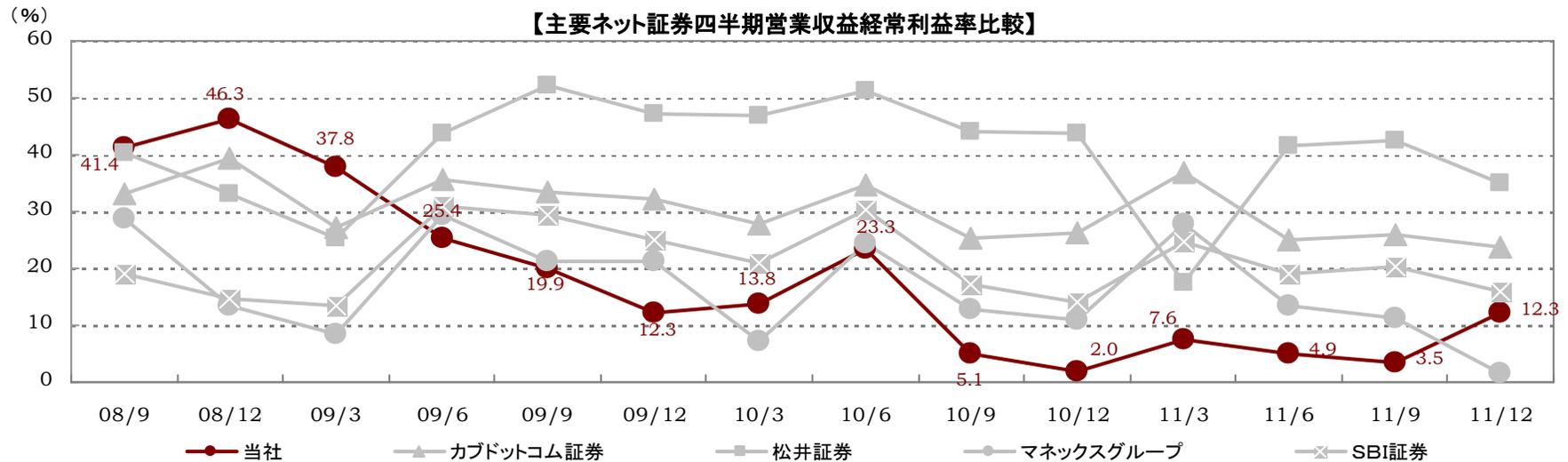
主要経営指標推移

Money Partners Group

■ 主要ネット証券とのROE及び営業収益経常利益率比較



※：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$ なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。





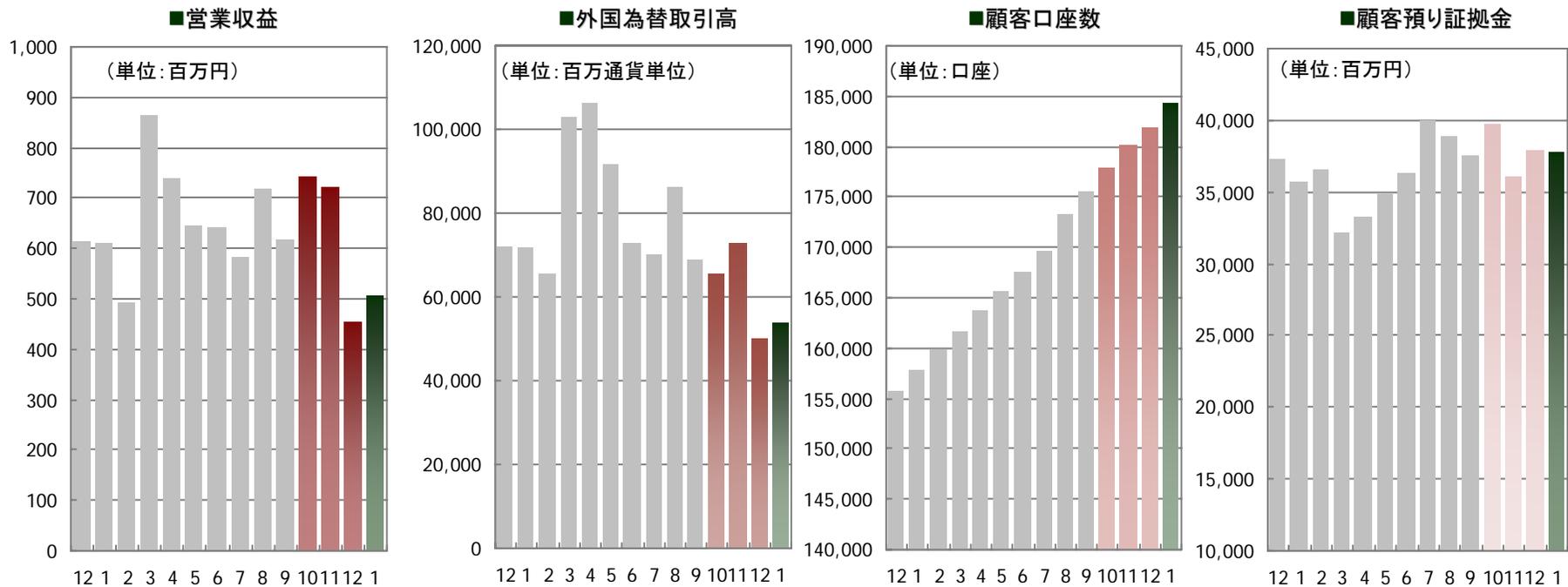
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
営業収益(百万円)	616	611	493	863	738	645	643	584	720	617	744	721	456	508
外国為替取引高 (百万通貨単位)	72,162	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070	86,419	68,855	65,476	73,015	50,117	53,593
顧客口座数(口座)	155,852	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764	173,298	175,640	177,820	180,145	181,877	184,260
顧客預り証拠金(百万円)	37,244	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932	38,851	37,526	39,751	36,029	37,888	37,732

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



Ⅱ .2012年3月期第3四半期の取組みと重点課題の進捗状況





2012年3月期第3四半期の主な取組み

システム関連の取組み

- ◆ ユーザーの利便性を向上させる取引ツールの継続的な機能追加を実施
- ◆ システムの信頼性向上とシステムコスト効率化を両立するためのデータセンター集約を完了
- ◆ パートナースFX対応のスマートフォン用FX取引アプリ『Hyper Speed Touch』をリリース

顧客向けサービス関連の取組み

- ◆ 顧客目線に立った、会員専用サイトの更なる改善、リニューアルを推進
- ◆ “負けない”顧客育成の拡充を目指し、「トレードレポート」をバージョンアップ
- ◆ オリコン2012年度版オリコン顧客満足度ランキング「FX取引」部門で、「サービスの充実度」など4項目にて1位獲得

顧客基盤拡大に向けての取組み

- ◆ 強力な約定力を維持したまま、提供スプレッドの更なる縮小による競争力強化
- ◆ スマートフォンユーザーからの新たな顧客導線の開拓
- ◆ 女性向けサイト『マネパの園』オープンによる女性顧客取り込み導線強化

BtoBビジネスに関する取組み

- ◆ 海外証券会社等とのアライアンスの模索
- ◆ 大手事業法人・金融法人等とのアライアンスの模索



スマートフォンユーザーからの新たな顧客導線の開拓

Money Partners Group

◆スマホ用取引アプリ『Hyper Speed Touch』をリリース



【スマホアプリ展開進捗状況】

2011/10/12 バージョン1.0 リリース

2011/12/26 Android版バージョンアップ

2012/1/16 iPhone版バージョンアップ

顧客が求める改修を継続的に実施予定



多彩なテクニカルチャート+豊富な市況ニュースで本格トレードが可能

成長著しいスマホからの取引ユーザーを取り込むことで、新たな顧客層と取引高を獲得する

会員専用サイトの継続的な改善

◆ユーザー志向の声を反映したリニューアルを実施

【画面レイアウト、メニュー構成、訴求スペースなどの全面リニューアル】

1/18
リリース

Before

取引メニューの明確化
混乱のないユーザー導線の確立

お知らせ欄の拡充
および会員向け訴求の強化

顧客目線によるリニューアルの推進によって、満足度の向上を図る

◆女性向けサイト『マネパの園』オープンおよび専用特別コンテンツ公開



2012/02/01
日本経済新聞
夕刊にて紹介



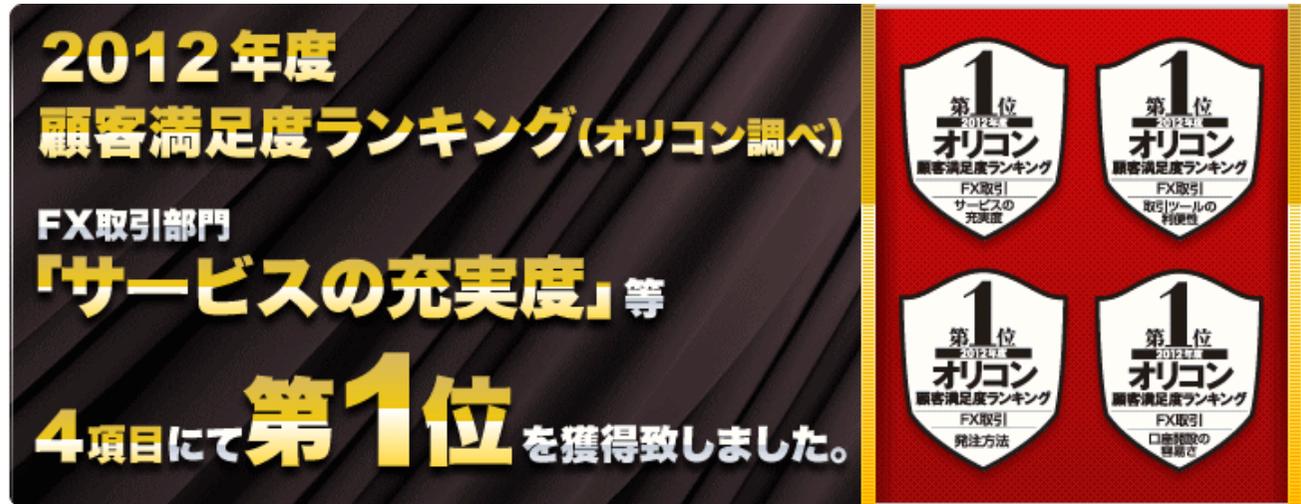
女性に向けた様々なコンテンツを展開することで女性顧客取り込み導線を強化



Money Partners Group

顧客向けサービスの充実

◆オリコンCSランキングで、「サービスの充実度」など4項目にて1位獲得



【調査結果(抜粋)】

調査項目	順位
サービスの充実度	1位
取引ツールの使いやすさ	1位
発注方法の充実度	1位
口座開設の容易さ	1位
システムやネット接続の安定性	2位
提供情報の豊富さ	2位
HPのわかりやすさ	2位
・・・etc	-
総合	2位

【ランキングの概要】

- オリコンCSランキングとは
実際の利用経験者(現在利用中、もしくは利用経験者)を対象にして行った、顧客満足度調査の結果に基づいたランキング
- 調査期間・更新日
8月26日～8月27日の4日間で調査し、12月1日更新
- 調査対象者
対象者数 : 586
性別 : 指定なし
年齢 : 18歳以上
地域 : 全国
条件 : 過去1年以内にインターネット証券会社を利用してFX取引を行ったことがある人

第三者機関の調査においてもマネパの評価は高く、“高品質のサービス”を実証



2012年3月期の重点課題

	重点課題・重点施策	進捗状況
既存分野	▶ 顧客育成による事業基盤の強化 ・トレードレポート等顧客向けサービスの強化 ・FX取引顧客化への導線の多様化	・トレードレポート紹介ページのリニューアル、対象顧客への訴求等 ・女性向けサイトオープン等新たな試みを実施
	▶ コスト構造の更なる筋肉質化 ・システムコスト、口座獲得コストの最適化	・H/Wの構成見直しに伴うコスト削減を実現 ・広告コストは継続的に見直しを実施
	▶ 内部成長の推進 ・プロパー顧客の取引拡大 ・取引高当たり収益性の向上	・スプレッドナロー化キャンペーンの実施やセミナーの開催等によりプロパー顧客の取引拡大に取組み中 ・大ロット超短期取引への対応等に加え、低ボラティリティ下でも一定の収益を獲得するべく改善を継続中
新規分野	▶ 実需向けサービスの強化 ・外貨両替・受取サービスの知名度向上、利用促進	・外貨両替・受取サービスは順調に推移 ・当社の差別化戦略のひとつとして、新サービスの開発や既存サービスの強化策実施
	▶ 新商品・新サービスの展開 ・新しい店頭デリバティブ商品のサービスイン ・ユーザーオリエンテッドな新サービスの開発・展開	・CFD取引サービスリリース以降、顧客への訴求を積極化 ・資金移動業の登録申請に着手するとともに、新サービスの検討・開発に着手

FXを軸にしたBtoCビジネスに経営資源を傾け、独自のポジションを確立する

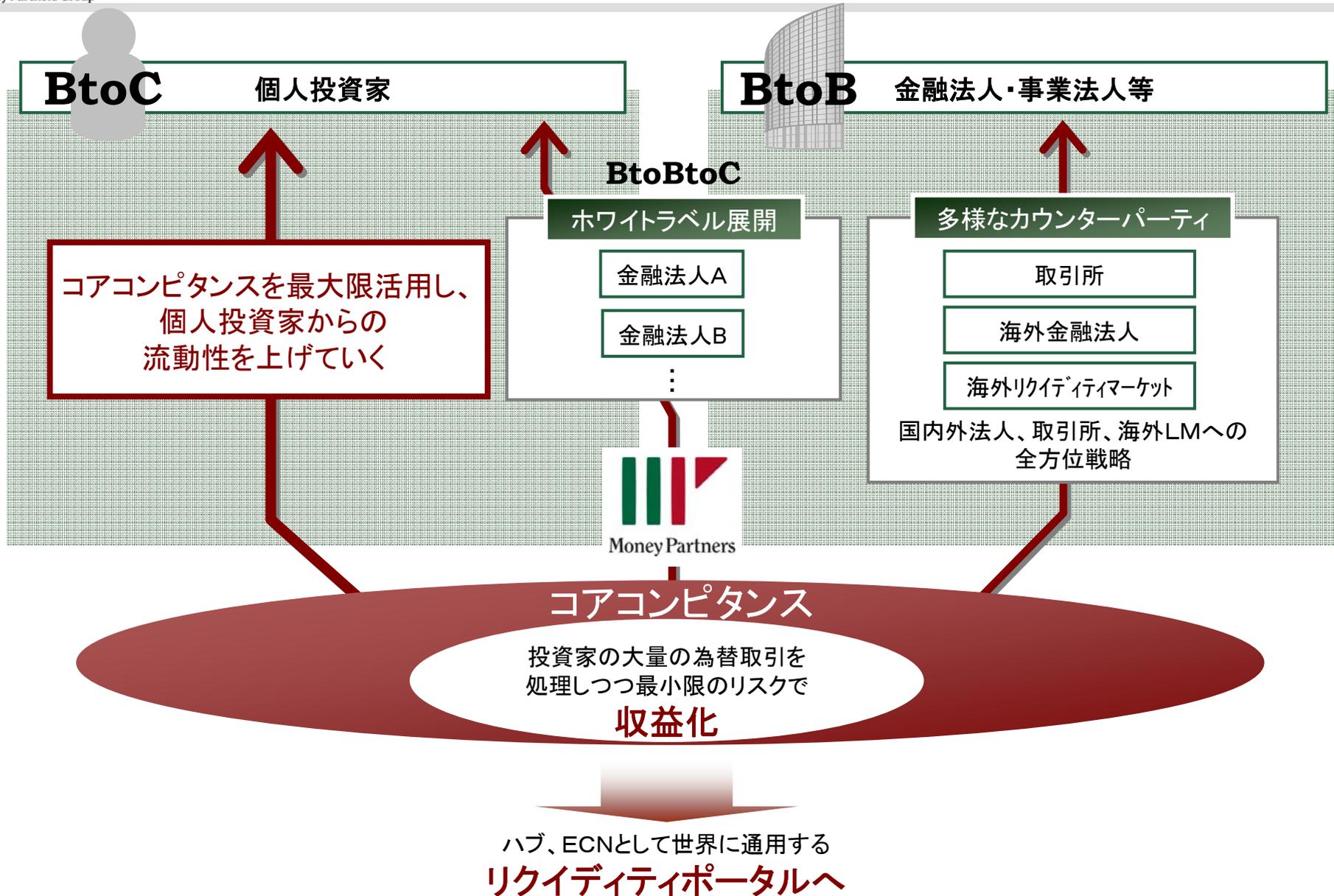
Ⅲ. 当社グループの強みと今後の目指すべき方向性



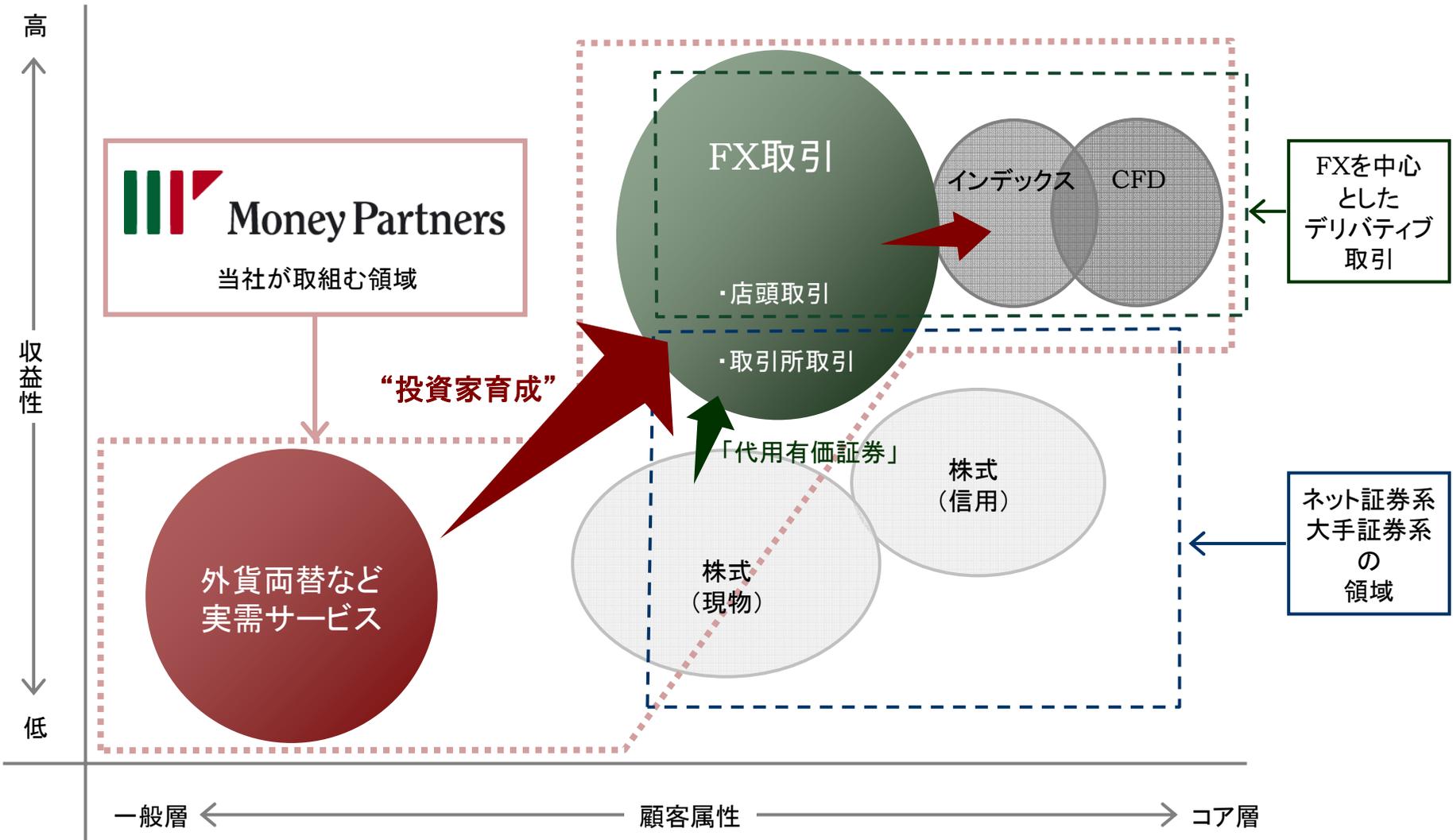


Money Partners Group

コアコンピタンスと目指すべき方向性



中長期的な経営戦略 ～実需層への取組み強化



実需層への取組みを推進し、広く一般の投資家にも利用してもらえるFX会社を目指す

IV. 当社の経営目標及び株主還元について



ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2012年3月期第3四半期(2011年10～12月)のROEは5.6%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2012年3月期第3四半期(2011年10～12月)の営業収益経常利益率は12.3%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2011年3月期				2012年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	394	59	△26	87	56	80	134	
配当金の総額 (百万円)	139		30		30			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式10,623)		321,480 (内、自己株式20,023)		321,480 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	450円		100円		100円			



取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引および電話での決済注文に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合、1万通貨単位あたり5千円から2万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.5%の手数料(消費税別)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2012年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ